

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算                      支出科目 款：総務費    項：防災費    目：消防指導費

事業名 消防表彰費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)  
危機管理部 消防課 消防係    電話番号：058-272-1111(内2882)  
E-mail：c11193@pref.gifu.lg.jp

1 事業費                                      4,926 千円    (前年度予算額：                                      3,036 千円)

＜財源内訳＞

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,036	0	0	0	0	0	0	0	3,036
要求額	4,926	0	0	0	0	0	0	0	4,926
決定額									

2 要 求 内 容

- (1) 要求の趣旨（現状と課題）  
消防団は、消防組織法に基づいて市町村に設置される消防機関であるが、その活動はお互いに助け合い、支え合う地域社会づくりのボランティア精神により成り立っている。また、消防団員に託された地域住民の期待に応えるため、時に危険を伴う活動を行っており、その労苦に報いるため表彰を実施する。  
この表彰により、消防団員の士気の高揚、ひいては県民の安全確保への寄与を目指すものである。
- (2) 事業内容  
表彰式では、日頃の消防活動や火災予防活動に顕著な功績があった消防団、女性防火クラブ、少年消防クラブ等の消防機関及び消防職団員等に対して、知事特別表彰旗や知事特別功労章をはじめとする各章（賞）を授与するほか、消防活動を支えている団員の家族及び消防団の活動を支援している事業所に対して感謝状等の授与を実施する。
- (3) 県負担・補助率の考え方  
県が実施主体の表彰。
- (4) 類似事業の有無  
なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	4,537	表彰物品購入費、賞状購入費
印刷製本費	94	賞状印刷費
役務費	295	賞状筆耕費
合計	4,926	

決定額の考え方

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

消防職団員をはじめ、団員を支えている家族や、団の活動を支援する事業所などを表彰し、その労に報いるとともに、地域防災に対する更なる士気の高揚につなげる。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (S44)	R6年度 実績	R7年度 実績	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①消防団員の条例定数に対する充足率	99.9%	90.9%	—	—	—	—
②消防団員の条例定数を充足している市町村の数		5	6	7	8	75.0%

\*令和7年度に目標を変更した。（令和6年度まで①／令和7年度から②）

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	令和4年度「消防感謝祭」岐阜県消防定例表彰式を開催 ・日時 令和4年11月13日（日） ・場所 不二羽島文化センター（羽島市） ・表彰者 33団体 3,069名（うち県 25団体、1,308人） ・参加人員 約200人
	指標① 目標：98.0% 実績：88.5% 達成率：90.3%
	指標② 目標：— 実績：7 達成率：—
令和5年度	自治体消防75周年記念「消防感謝祭」第47回岐阜県消防大会を開催 ・日時 令和5年11月19日（日） ・場所 高山市民文化会館「大ホール」（高山市） ・表彰者 30団体 3,478名（うち県 23団体、1,364人） ・参加人数 約700人
	指標① 目標：98.0% 実績：91.6% 達成率：93.5%
	指標② 目標：— 実績：5 達成率：—
令和6年度	令和6年度「消防感謝祭」岐阜県消防定例表彰式を開催 ・日時 令和6年12月1日（日） ・場所 岐阜県庁1階 ミナモホール（岐阜市） ・表彰者 26団体 3,154名（うち県 19団体、1,315人） ・参加人員 約350人
	指標① 目標：98.0% 実績：90.9% 達成率：92.8%
	指標② 目標：— 実績：5 達成率：—

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	東日本大震災や令和6年能登半島地震以降、消防の重要性に対する認識が高まっており、団員の士気高揚につながる表彰は、必要性が非常に高い。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	消防団員の活動はボランティア精神により成り立つことから、団員がやりがいを持つためには、その努力が感謝され、賞賛されることが重要であり、表彰は団員の士気高揚につながる。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 2	表彰式開催に要する費用の低減に努めるなど、事業の効率化を図っている。

### (今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 表彰枠が限られているため、要件を満たしながらも受賞できない団員がいる。
---

### (次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 限られた表彰枠の中でより多くの団員に表彰の機会が与えられるよう、市町村の要望を踏まえつつ表彰の統廃合などを行う。
---